

# つちだりポート

## 東京ドーム非公開練習試合

### VS JX-ENEOS

第一戦を一週間後に控えた 7月13日(月) 3時から東京ドーム・非公開練習が行われた。3年振りの出場かつ午後2時試合開始と昼間の試合、日中のドームのグラウンド状況確認をシートノックで人工芝の感触・内外野に上がったフライのボールに対する見え具合(天井と照明の感覚)等を会得する練習を行った。

練習試合は午後 3:30 から JX-ENEOS 先行で始まった。

四球・死球	0	2	0	1	1	0	0	4
安打	0	0	2	0	4	0	2	8
JX-ENEOS	0	0	0	0	3	0	1	4
イニング	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>計</b>
明治安田生命	0	0	0	3	0	0	0	3
安打	0	0	1	4	1	1	0	7
四球・死球	0	0	0	1	1	0	0	2

明治安田生命 大久保(2回)・重信(2回)・鈴木(2回)・平田(1回)---野地・上田

(敬称略)



先発 大久保投手



2番手 重信投手



3番手 鈴木投手



4番手 古田投手

明治安田の先発は大久保投手、初回3者凡退。2回先頭打者4番三振、5番打者を簡単に0ボール2ストライクと追い込もインコースに投げ死球、6番にストレートの四球で何時もの悪い癖がと心配したが後続を打取り無得点に抑える。3回から代表決定戦の立役者重信投手登板、先頭打者を7球使いながら四球、次打者送りバンドが線上に転がりボールは切れず内野安打で無死3・1塁のピンチ、スクイズを投手フライに打ち取り3塁走者も捕殺しダブルプレイでピンチを凌ぐ。4回四球を与えるも外野フライ3つで抑える。

(ここで送りバンドを内野安打にした場面、試合開始直前に JX-ENEOS のバッテリー・内野手が三塁側の線上にボールを転がしボールの切れ具合

を確認していた。さすが出場常連チームやることに隙は無い。試合後明治安田の選手も球の転がりを確認していた)

5回から鈴木投手、先頭打者・次打者に連続ヒットされ続く打者に四球と無死満塁の大ピンチも当たり損ねの一塁ゴロで1点返されるも1死3・2塁、3番打者を三振で2死、4・5番打者に不運の打球で内野安打され2点追加され同点、6回は三者凡退に打ち取る。

7回から古田投手が登場先頭打者に内野手の連係不足で内野安打とし、犠牲バントで1死二塁からライト前に逆転打を打たれるも後続を打ち取る。打撃陣はJX-ENEOSのエース大城投手に3回1安打に抑えられる。

4回2番手船本投手に先頭打者2番本田選手レフト前ヒット、続く3番竹内初球を投手強襲の内野安打、無死2・1塁のチャンス、期待の4番加藤選手三振に倒れ、チャンスは続く5番荒川選手四球で1死満塁にチャンスに強い6番島田選手が期待に応えてセンターへタイムリー2点ヒット、



満塁で2点タイムリーヒットの島田選手



島田選手のタイムリーでホームインの竹内選手

7番矢島選手(NTT 東日本補強)四球で8番野地選手レフト前にタイムリーで3点目のヒット、9番井村選手ファストへ強烈なゴロを打ち一塁手の好守備に阻まれ3—2—3のダブルプレーで追加点を奪えず。

7回裏三者凡退、時間制限につきゲームセットとなる。

今日の試合は4回の速攻が鮮やかだったが再三のチャンスに4・5番がチャンスを生かすことが出来なかったのが悔やまれる。

本番では彼らの活躍を期待する。投手陣は若干無駄な四球が目立ってがまずまずの投球だった。不運な当たり(内野ゴロで失点)が気になるが自信を持って投げ続けてください。

投手陣の頑張り と 打撃陣の活発な打撃で是非33年振りに勝利を呼び込んでください。

2015年7月13日

土田 唯雄